## 肝炎治療受給者証(非代償性肝硬変に対するインターフェロンフリー治療)の交付申請に係る診断書

フリガナ		性別	生年月日(年齢)					
患者氏名		男·女		年	月	日 生	(満	歳)
住所	郵便番号							
	電話番号(	)						
受診の契機	1 市町村が実施する肝炎検査 2 保健所が実施する肝炎検査 3 献血 4 出前検査							
	5 人間ドック・健康診断 6 医療機関無料検査 7 その他( )							
診断年月	年 月 前医 (あれば記載)	医療機関名医師名						
過去の治療歴	該当する項目にチェックする。チェックした場合、これまでの治療内容について該当項目を○で囲む。 □ インターフェロン治療歴あり。 ア. ペグインターフェロン及びリバビリン併用療法 (中止・再燃・無効) イ. ペグインターフェロン、リバビリンおよびプロテアーゼ阻害剤(薬剤名: 3剤併用療法 (中止・再燃・無効) ウ. 上記以外の治療(具体的に記載: □ インターフェロンフリー治療歴あり。(薬剤名: )(中止・再燃・無効)							
検査所見	今回の治療開始前の所見を記入す 1. C型肝炎ウイルスマーカー (核(1) HCV-RNA定量 (2) ウイルス型(該当する項目: ア) セロタイプ(グループ) 1 イ) セロタイプ(グループ) 2 ウ) 上記のいずれも該当し	食査日: (単位: を○で囲む。) 、あるいはジ 、あるいはジ	、測定法: ェノタイプ1 ェノタイプ2	)	<b>t</b> : )			
	AST	U/L (施設 /uL (施設		)				
	~ 3. Child-Pugh分類 (検査日:	年	月日)					
	肝性脳症 腹水 アルブミン値(g/dL) プロトロンビン時間(%) 総ビリルビン値(mg/dL)	見 (検査日:	施設基準値 1点 □なし □なし ~ □3.5超 ~ □70超 ~ □2.0未満 合計: 点( A・		2点 ] 軽度(I ] 軽度 ] 2.8~3.5 ] 40~70 ] 2.0~3.0	• II )	ックを入れ。 3点 □ 昏睡(Ⅲ □ 中等度) □ 2.8未満 □ 40未満 □ 3.0超 を○で囲む	(   以上)         
-4.00-4	(所見: ) 該当番号を○で囲む。							
診断	1. 非代償性肝硬変 (C型肝炎ウイルスによる) ※Child-Pugh分類B及びCに限る							
肝がんの合併	肝がん       1. あり       2. なし         インターフェロンフリー治療(薬剤名:       )							
治療内容	治療予定期間週(	年	月 ~ 年	月)	)	,		
本診断書を 作成する医師	インターフェロンフリー治療歴のある場合、以下のいずれかの項目にチェックがない場合は助成対象となりません。  □ 肝疾患診療連携拠点病院に常勤する日本肝臓学会肝臓専門医  □ 他の日本肝臓学会肝臓専門医又は都道府県が適当と定める医師で、別紙意見書を添付している医師							
治療上の問題点								
上記のとおり、非代償性肝硬変に対するインターフェロンフリー治療を行う必要があると判断します。								
記載年月日 年 月 日 医療機関名及び所在地								
医師氏名                印								

## (注)

- 1. 診断書の有効期間は、記載日から起算して3か月以内です。 2. 記載日前6か月以内(ただし、治療中の場合は治療開始時)の資料に基づいて記載してください。
- 3. 記入漏れのある場合は認定できないことがあるので、ご注意ください。 4. 都道府県が指定する医師とは、岡山県では肝炎一次専門医療機関の基準を満たす医師として届けている医師のことです。